



議会だより

令和4年
9月1日
発行

発行／東庄町議会

〒289-0692 香取郡東庄町笹川い 4713-131 電話 0478 (86) 1111

第181号

先に泣いたが勝ち～！



Contents

- 行政の手続きをオンライン化へ…………… 2
- ICT機器を活用した授業！…………… 4
- 町内すべての水道基本料金を軽減…………… 5
- 町の考えを問う…………… 6

7月30日に諏訪大神で
赤ちゃんの泣き相撲が
行われました。



6月
定例会

行政の手続きをオンライン化へ

～マイナンバーカード利用で届け出を便利に～

令和4年6月町議会定例会は、6月7日から10日までの4日間の会期で開かれました。

今議会では、固定資産評価員の選任、専決処分の承認、条例の一部改正、補正予算などの議案が提案され、慎重審議の結果、すべての案件を原案のとおり同意・承認・可決しました。

請願2件については、教育予算関係の請願2件が採択となり、教育予算関係に関連した「意見書案2件」を可決しました。

一般質問は4人の議員が行いました。

定例会の経過概要

6月定例会初日の7日には、一般質問を4人の議員が行った後、固定資産評価員選任の同意1件、条例の一部改正の専決処分に係る承認2件、東庄町選挙公報の発行に関する条例、東庄町職員定数条例の一部改正、令和4年度一般会計補正予算等の議案6件が提案され、慎重審議の結果、全案件を原案のとおり可決しました。

次に、繰越明許費繰越計算書等の報告2件を受けました。

続いて、請願2件が上程され趣旨説明の後、所管の常任委員会に付託しました。

2日目の8日は、午前には文教福祉常任委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。

最終日の10日には、文教福祉常任委員長から付託された請願2件の審査結果の報告、これを受け、議員発議による意見書案2件が提出され可決しました。

可決された主な議案等の概要

◎固定資産評価員の選任

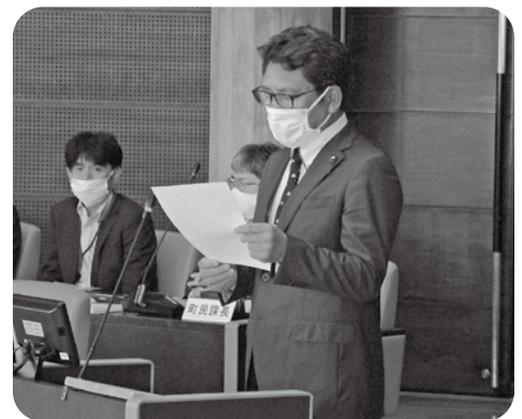
前副町長金島正好氏の退任により香取康成町民課長を適任者として選任することに同意しました。

◎専決処分の承認（町税条例等の一部を改正する条例・東庄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）

地方税法等の一部を改正する法律等が令和4年3月31日に公布され、4月1日から施行されることに伴い地方税法等を引用する条例の一部改正を専決処分したため、承認を求めらるるものです。

◎東庄町選挙公報の発行に関する条例制定

町議会議員及び町長の選挙においても、選挙公報を発行できるようにするため、制定するものです。



請願の説明をする柳堀議員

◎東庄町議会議員及び東庄町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

公職選挙法の一部改正により、町議会議員及び町長の選挙における公費負担の限度額を引き上げるため、条例改正するものです。

◎東庄町職員定数条例の一部改正・一般職の職員の給与等に関する条例の一部改正

令和6年度開設予定の介護医療院の運営について万全を期するため、会計年度任用職員で対応している看護補助の業務に従事する職員を一般職の職員として採用するため、条例改正するものです。

◎一般会計補正予算（第1号）



マイナンバーカードの申請サポートが開始されました

◎東庄町国民健康保険東庄病院事業
会計補正予算（第1号）
病院事業費用の医業費用に1250万円を追加し、病院事業費用総額を11億4015万3千円とするものです。
内容は、職員採用に伴う人件費の増額とそれに伴う経費の減額補正となります。

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、4881万7千円を追加し、補正後を57億9681万7千円とするものです。
主な内容は、行政デジタル化推進業務委託及びマイナンバー普及事業を新規で計上するものです。マイナンバーカードを利用して、オンラインで完結できるシステムの導入で、転出入の届け出などがオンラインで出来るようになります。

6月定例会上程議案等議決結果

賛成=○ 反対=× 議長=—
(議長は、採決に加わりません)

議案番号	議案名	議決結果	越川良男	柳堀忠	桜井莊一	土屋光正	佐久間義房	板寺正範	花香孝彦	大網正敏	城之内一男	高木武男	鈴木正昭	山崎ひろみ	土屋進	宮澤健
同意第13号	固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	—
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（町税条例等の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	—
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（東庄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	—
議案第16号	東庄町選挙公報の発行に関する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	—
議案第17号	東庄町議会議員及び東庄町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	—
議案第18号	東庄町職員定数条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	—
議案第19号	一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	—
議案第20号	令和4年度東庄町一般会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	—
議案第21号	令和4年度東庄町国民健康保険東庄病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	—
報告第1号	繰越明許費繰越計算書について（令和3年度東庄町一般会計繰越明許費繰越計算書）	報告	報告事項のため採決はありません													
報告第2号	事故繰越し繰越計算書について（令和3年度東庄町一般会計事故繰越し繰越計算書）	報告														
請願第1号	「国における2023年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—	—
請願第2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—	—
意見書案第1号	国における2023年度教育予算拡充に関する意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—	—
意見書案第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	—	—

常任委員会報告

6月定例会の本会議において付託された請願については、所管の常任委員会において慎重に審査が行われました。

常任委員会における意見等の概要は次のとおりです。

文教福祉常任委員会

(請願第1号 「国における2023年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願)

意見

保護者の教育費負担を軽減するための義務教育教科書無償制度を堅持することに賛成する。

子供たちの教育環境の整備を一層すすめるため、教育予算を十分に確保する請願に賛成する。

以上のような意見等があり、請願第1号については採決した結果、当委員会においては、賛成全員により採択すべきものと決定しました。

(請願第2号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願)

意見

義務教育を受ける機会を保障することは国の責務であり、教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書に賛成する。

教育の水準や機会に地域格差が生じることはあってはならない。

については、予算確保は不可欠であり意見書に賛成する。

以上のような意見等があり、請願第2号については採決した結果、当委員会においては、賛成全員により採択すべきものと決定しました。



文教福祉常任委員会

ICT機器を活用した授業!

東庄小学校を見学!

6月29日に、GIGAスクール構想補助金等(国・町)を利用し、ICT環境の整備を進めている小学校の授業を見学しました。

ICT支援員のサポートを受け、児童達は、電子黒板や一人一台のタブレット端末を使用し、熱心に学習していました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、急速に進んだ教育環境の変化に、戸惑いながらも柔軟に対応していく児童達に感心しながらも、視力低下を懸念するなど、悪影響を心配する声も聞かれました。

近隣市町と比べると、当町のICT教育環境は整備が進んでいるようですが、今後はいかにどう活用するか、指導や使用する児童達の格差がないか、など様々な意見が出されました。

学校としても、情報化社会に対応するためにも、ネットリテラシーの指導もしながら、幅広い活用方法を模索していきたいとのことでした。



授業をサポートするICT支援員



電子黒板を使用した2年生の授業

第1回臨時会

町内すべての水道基本料金を軽減**～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で
基本料金2310円を6カ月間減免～**

令和4年第1回臨時会が7月20日に開催されました。物価高騰の対策費などを盛り込んだ新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等、一般会計補正予算1億4266万4千円、水道基本料金を6カ月間減免する水道事業会計補正予算の議案2件が上程され、全会一致で可決しました。

議案第22号 令和4年度東庄町一般会計補正予算（第2号）・・・【原案可決】

議案第23号 令和4年度東庄町水道事業会計補正予算（第1号）・・・【原案可決】

【主な内容】

- ・ 公共料金の負担軽減の支援として、水道の基本料金2310円を令和4年9月から令和5年2月までの6カ月間減免
- ・ 主食用米の価格下落をうけ、主食用米水稻出荷農家に10a当たり3千円を支援
- ・ 物価高騰による農業経費の増加に対し、農業申告をしている農家に3万円を支援
- ・ 燃料代や電気代の高騰に対する保育所、介護施設への補助
- ・ スクールバスの運行継続を目的として、燃料代の高騰分を支援
- ・ 建築資材の高騰によるこども園園舎増築事業の増額
- ・ コロナウイルス感染症に対応した、新たな地域公共交通の実証運行
- ・ とうのしょうヘルスツーリズム事業補助金

**9月定例会は、9月6日（火）
から開会予定です。**

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用・手指消毒・
本会議場の換気を徹底いたします。



やまざき 山崎 ひろみ 議員

地方創生臨時交付金の

取扱いは

問 政府が4月に発表した総合緊急対策では、自治体の事業を国が財政支援する「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」の拡充の創設が決まったが、町の取り組みについて伺う。

生活支援として、①学校給食費等の負担軽減、②生活に困窮する方々や子育て世帯への支援、③水道料金をはじめ公共料金の負担軽減、④産業支援として事業者への経営支援等があげられるが町の考えを伺う。

企画財政担当課長 県から当町の交付限度額が7243万8千円と示され、充当する事業について、現在各課に照会をし、検討しているところであり、きめ細やかな活用を考えているところがございます。

①本町は、給食について保護者負担がありません。現在の予算配当で足りない状況になった際、給食係と相談しながら対応します。保育園や介

護施設については、今後関係部署と協議しまして対応します。

②「住民税非課税世帯等臨時特別交付金」「子育て世帯生活支援特別交付金」を国の金額で給付しますが、現時点での上乗せ措置は、考えておりません。

③水道料金の基本料金への充当については、関係部署と協議しまして対応します。

④国の支援制度の「事業復活支援金」「小規模事業者持続化補助金」など商工会を通じて申請し、活用している事業者もあるようですが、関係部署と協議しまして対応します。

要望 9月議会を待たずとも臨時議会を開催して、迅速な対応を望む。

子育て支援の現状は

問 小学校が統合して3年目になり、「放課後児童クラブ」の利用者が多い状況と聞かれましたが、夏休みの利用も含め、現状と課題について伺う。

健康福祉課長 現在、平日においては、小学校1年生から6年生140名前後（定員120名）の利用があります。新型コロナウイルス感染拡大防止や安心安全な運営を行うため、密集を避けて、一部は公民館の和室を使用しているところがございます。月額料金は、月曜日から金曜日で5千円、月曜日から土曜日で

7千円です。夏休みは、令和3年度に、100名前後の利用があり前年度より増加しております。8月は、1日の保育となることから、利用料金を通常より増額し、月額1万円にしております。開始から2年が経過し、様々な課題が見られるようになり、日々改善策を検討し、対応しているところがございます。

問 利用料金について、近隣の自治体と比較して、どのように認識しているか。

健康福祉課長 香取市等近隣5市町と比較し、大きな金額の差異はありませんので、妥当な額と考えております。

問 放課後児童クラブと学校側の情報共有は、できているか。

健康福祉課長 昨年度は、支援が必要な児童を対象とした個々の情報共有は、行っておりましたが、会議等での情報共有までは、出来ていませんでしたので、本年度は、小学校に配置されている特別支援コーディネーターに窓口になっていただき、支援員との情報共有を行うことを予定しています。

問 現在は、コロナ禍で人数制限をしていると思うが、「子育て支援センター」の利用状況を伺う。

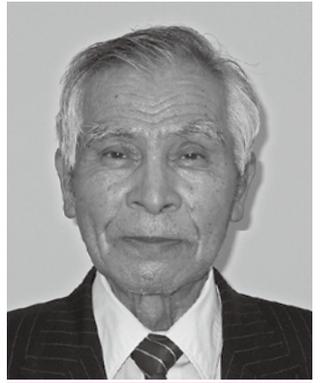
健康福祉課長 町には、3カ所の「子育て支援センター」があります。令和2年度が、延べ利用者数は、



利用者が多い放課後児童クラブ

3430人、令和3年度3500人となっております。現在は、感染予防のため、予約制で運営しております。町外の利用者については、1カ所のみ集計になりますが、37・4%となっております。

提案 学童保育を利用しない子どもを含め「放課後子ども教室」等の充実を望む。更に、町では、出生数が減少する一方で、保育事業は重要な位置付けにあります。3園の経営者や働く保育士さん等と町側がコーディネートできる状況を作るべきと考えます。



鈴木 正昭 議員

町の公共交通は

問 町はどのような交通システムを導入するのか。選定の経緯と事業主体、時期、車両の型式と台数、要員と予算について伺う。

企画財政担当課長 町では、地域公共交通のために地域公共交通会議を立ち上げました。交通システムについては、この会議の決定事項であり、その後、国土交通省関東運輸局千葉運輸支局へ公共交通の運行の届け出、認可となりますので、内容は決まっております。今後会議で、デマンドタクシーや家用有償旅客運送などから、町にふさわしい形態の選択、事業主体や運賃などを検討してまいります。9月議会で補正予算後、年度内に、実証実験運航開始を目標としており、見直しをしながら、町にふさわしい公共交通の形態の確立を検討してまいります。

問 6月以降の次回の公共交通会議の開催予定は、いつ頃か伺う。
企画財政担当課長 事業の内容の選

定を行うため、8月を予定しています。また、実証実験開始後の3月には、来年度に向けての会議を行います。
要望 現在高齢者人口は、増加しており、交通難民も免許返納をし、増加している。障害者も通院に苦慮している。一日も早い実現を望む。

問 町民バスが老朽化しつつあるが更新するか否か。

総務課長 町民バスにつきましては、地域公共交通の枠組みには含まれておりませんが、研修バスとして、文化団体や学校などの各団体の活動の中で重要な役割を果たしているものであると考えております。

町民バスの更新の検討状況につきましては、現在の町民バスは、年数は経過しておりますが、平均的なバスと比べると走行距離は少なく、車体とエンジンともに問題はありません。定期点検においても、異常はみられないことから、当面の間は現在のバスを継続して利用することを考えております。



地域公共交通会議

高齢者の福祉施策は

問 町の65歳以上の高齢者の人口と高齢化率、及び単身世帯数について伺いたい。

健康福祉課長 令和4年4月1日現在で、65歳以上の人口が5252人で高齢化率は39.5%です。

65歳以上の単身世帯については、令和2年度の国勢調査によると591世帯で単身世帯率は12.8%です。

問 健康体力低下防止のため高齢者の利用できる施設の整備と、トレーニングマシンについて伺いたい。

健康福祉課長 町には、高齢者が気軽に利用できる施設はありませんが、高齢者が要介護状態になることを予防し、地域で自立した生活を営むことができるよう65歳以上の方を対象に、運動教室や脳活教室などを実施しております。施設を新たに整備し、トレーニングマシンを整備することは、施設や器具、けが等の安全管理が難しいため、今のところ考えておりません。

問 シニアクラブへの補助金が減額傾向にあるようだが、増額の考えはあるか。

健康福祉課長 シニアクラブ補助金は、徐々に減額してりましたが、平成24年度からは、一団体3万6千

円となっております。補助金は、シニアクラブの活動に要する費用に対し、一律に交付するもので、様々な活動をする中で、事業費不足が顕著となった場合には、増額を検討させていただきます。

要望 物価上昇や年金も減額されている状況なので、増額を望む。

問 単身高齢者の寝たきりや孤独死の防止について伺いたい。

健康福祉課長 寝たきりの防止については、コロナ禍で高齢者の各種イベントが2年間中止となっており、今年度においては、新型コロナウイルスの感染状況、社会情勢を踏まえ、感染対策を行いながら各種イベントを実施できるよう進めてまいりたいと思います。

孤独死の防止については、町では災害時要援護者台帳の整備や緊急通報体制等整備事業、見守りネットワーク事業を実施しており、民生児童委員や協力機関、民間企業と連携し、早期の異変に対応し、深刻な状態になることを防ぐことに努めてまいります。

要望 見守りネットワークが町内網羅されていることだが、高齢者のワクチン接種も進んできているので、イベント等の復活等を行っている。ただき活動の活性化を要望する。



たかぎ たけお
高木 武男 議員

新しい東庄のために

問 町の最大の課題点は、少子化と高齢化による人口減少と恐れ、過疎地域に指定されたことで、町民は将来に対して不安である。過疎対策予算は、目先の消費的予算が主であり、将来への投資的予算が見受けられないが、どの様に考えているか伺う。

企画財政担当課長 過疎地域の指定により、国庫補助金をうけながら、東庄小学校西校舎や給食センター、町道整備などハード面の整備だけでなく、新規就農支援金や創業支援金、今年度からは、移住定住支援金、結婚相談支援事業補助金、空き家等活動支援事業支援金など、新規事業を展開し、過疎対策を実施しております。これらは、人材の確保及び育成、雇用機会の拡充であり、人口減少に歯止めとなるよう将来への投資をしています。

問 過疎対策で一番大事にしていることは何でしょうか。

企画財政担当課長 いかにか若い世代の流出を防ぐか、当町へのUIJターンの促進が最重要課題であります。そのために、まず若者が誇れる町であり、町の魅力を語れるまちづくりが必要と考え、観光推進の底上げや多世代交流の取り組みを一層充実させて、交流人口の増加から将来的な本町の人口増進につなげることを目標に、実施への予算措置をしています。

問 離農者の増加により耕作放棄地が、拡大し続けているが、国からの補助金等では解決にならない。町独自の対策はあるか。

農業委員会事務局 農業委員及び農地利用最適化推進委員が、耕作放棄地の発生予防・解消について、積極的に活動しています。農家の悩み事を「地域のコーディネーター」として相談にあたり、常日頃から担当地区の農地の見回り活動を行い、把握に努めています。担い手の発掘・育成となる「新たな担い手の確保」などの活動にも取り組んでいます。

問 ポーク&ビア夏祭りの開催の趣旨は何ですか。

まちづくり課長 町の特産であるSPF豚をPRし、コミュニティが希薄となつている時代に、町内・町外の多くの方が楽しめる場を提供することにより、東庄町に愛着、関心を持ってもらうと共に、UIJター

ンの足がかりにするためのイベントです。

問 役場駐車場で飲み会をするのはいいと思う。SPF豚のPRや販売促進は、健全な方法ではないのですか。

まちづくり課長 販売促進だけではなく、主催である「東庄まちおこし隊」では、お盆に帰省した人を含めた来客同士のコミュニケーションが図れる楽しい場を提供して、集客できるイベントになることをコンセプトに掲げています。また、縁日コーナーなどもあり、子供達や家族連れも参加できるお祭りです。

要望 新しい東庄のために一番大事にしたいことは、「町民がこの町に住んで誇りに思えること」ではないでしょうか。そのためには色々な魅力あるまちづくりをすることだと思います。行政を担う皆さんには、新しい東庄のために真剣に取り組んでくださることを切に願います。



新型コロナ対策は

問 町では、感染者数以外の情報公開がされないのはなぜか。
健康福祉課長 新型コロナウィルス

感染者が発生した場合の情報の公表については、法により感染者に対して不当な差別及び偏見が生じないように、個人情報保護に留意しなければならぬと規定されており、健康所を所管していません。町では、千葉県からの情報をもとに、町ホームページで、年代・性別・検査確定日等を公表しており、それ以外には情報がありませんので、公表できません。

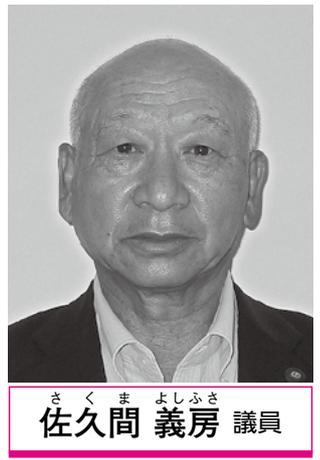
問 児童・生徒のワクチン接種について伺う。

健康福祉課長 ワクチン接種については、医療機関の個別接種で、5歳から11歳は本年3月から、12歳から15歳は昨年9月末から実施しております。

問 これからの感染見通しと、教育現場における感染予防策について伺う。

教育課長 基本的な対策は、①毎朝の健康観察 ②マスクの適切な着用 ③定期的な手洗いと喚気 ④狭い閉鎖空間での密集状態の回避を徹底しております。

学校行事等は、安易に中止するのではなく、感染対策を講じたうえで出来る限り多様な活動を実施するようになっています。そのほか各場面で基本的な感染対策に準じた行動を徹底し、学校内での感染拡大の予防に努めております。



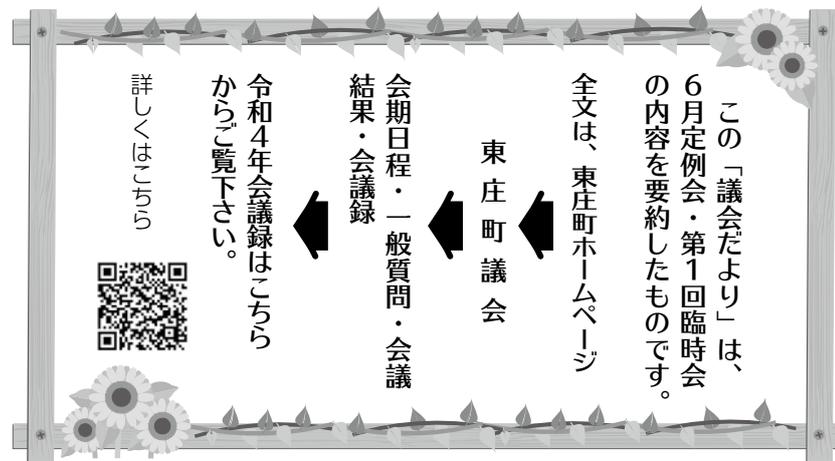
公金の誤送金対策は

問 誤って送金した公金は、回収するのが難しいと思われる。また、町が債務を負うことになったり、町民に大きな負担、不安を与えらることになる。町の誤送金を防ぐ対策について伺う。

会計管理者 支払いデータは、重複して作成できず、各係で作成されたデータは、担当係、出納室とチェックをしており、支払伝票と金額が合わなければ支払いは、出来ません。誤送金の起きる可能性は低いと思われず。

問 誤送金で振り込まれた公金の回収や補填は、どのような取扱いにするのか。

会計管理者 誤送金が発生した場合は、ご理解をいただけるよう誠心誠意対応してまいります。また、そのような事態が起きないよう公金を扱うことの重要性を十分認識し、各担当係とも問題意識を共有し、細心の注意を払い、適正な会計事務を行う



ていきたいと思います。

問 このような問題が発生した場合、顧問弁護士など町では相談できる体制となっているか。

総務課長 町では、政策法務アドバイザーとして弁護士と法律顧問契約を結んでおり、このような問題が発生した場合は、相談できる体制となっております。

要望 誤送金起きないように、町一丸となって、公金の送金対策を考えたい。

千葉県議会を傍聴

6月9日に、令和4年6月定例会議を傍聴しました。

一般質問では、銚子市・東庄町選挙区選出の宮川大議員から本町に関連する北ルート、国道356号線バイパスの早期完成に向けた道路問題についての質疑がありました。県議会を傍聴することにより一般質問の重要性を再認識することで、今後の議員活動における有意義な傍聴となりました。また傍聴後は、同選挙区の信田光保議長も交えて、意見交換を行いました。

同日に、今年1月に開場した成田市公設地方卸売市場を視察しました。当施設は、ワンストップ輸出拠点機能を備えた最新の卸売市場であり、成田空港に隣接した立地を生かし、今後もその他の施設が続々とオープン予定であり、今後の活用が期待されます。



信田県議長・宮川県議と意見交換を行う



1月にオープンした成田市公設地方卸売市場

土屋進議員 逝去



現議員の土屋進氏が去る6月9日逝去されました。土屋氏は、平成15年12月に当選され、以来5期18年の長きにわたり、今日まで在職され、議長をはじめ、監査委員や総務産業常任委員長などを歴任され、温厚な人柄と、熱意溢れる行動力で、町政発展の為に尽力をいただきました。真摯にご活躍された姿は、皆様方の胸に深く刻まれることと存じます。

ここに謹んで哀悼の意を表するとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。



議会活動日誌

【議長・議員が出席した主な行事】

5月

- 24日 東庄町商工会通常総代会
- 25日 東庄町シニアクラブ連合会グラウンドゴルフ大会
- 〃 東庄町献血推進協議会
- 26日 第1回千葉県町村議会議長会定例会
- 〃 香取地区社会教育連絡協議会定期総会・第1回社会教育研究会
- 30日 全国町村議長副議長研修会
- 〃 東庄小学校教育振興会定期総会
- 31日 議会運営委員会



グラウンドゴルフ大会

6月

- 2日 東庄町児童館運営協議会
- 3日 東庄町社会福祉協議会並びに千葉県共同募金会東庄町支会理事会
- 5日 東庄町観光ふな釣り大会
- 〃 東庄町奨学基金事業審査委員会
- 7日 議会6月定例会本会議
- 8日 文教福祉常任委員会
- 9日 千葉県議会傍聴・成田市公設地方卸売市場視察
- 10日 議会6月定例会本会議



ふな釣り大会表彰

- 10日 議会全員協議会
- 13日 学校跡地利活用審査委員会及び2次審査
- 17日 香取支部ポンプ操法大会出場部激励会
- 21日 地域公共交通会議
- 23日 香取広域市町村圏事務組合議会6月臨時議会
- 26日 なのはなシニア千葉特選演芸会
- 29日 ICT機器を活用した授業見学

7月

- 4日 市町村議会広報研究会
- 6日 東庄町農業振興地域整備促進協議会
- 〃 東庄町ふれあい塾塾員会議
- 12日 東庄町水道運営審議会
- 〃 地域公共交通会議
- 14日 第1回「東庄町国民健康保険事業の運営に関する協議会」
- 15日 第1回東庄町学校給食センター運営委員会
- 〃 東庄町民生児童委員推薦会
- 20日 議会運営委員会・議会第1回臨時会
- 〃 議会全員協議会
- 〃 議会広報編集委員会
- 22日 東庄町表彰条例による表彰式
- 30日 諏訪大神相撲祭

8月

- 1日 ふれあいまつり実行委員会
- 9日 東庄町介護保険運営協議会

編集後記

議会だよりが変わります。

3年ぶりに市町村議会広報研究会が開催され、「住民に読まれ、伝わる議会の存在を高める議会広報の基本と編集について」を広報編集委員として研修してまいりました。

初めて参加した委員からも、新しい着眼点での良い提案があり、変わっていく議会だよりを期待してお待ちいただければ幸いです。

これからも全国的な傾向などを研究し、多くの町民の皆様に読みやすく手に取ってもらえる議会広報を目指してまいります。皆様からのご意見・ご要望など、お待ち致しております。

議会広報編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 花香彦 |
| 副委員長 | 佐久間孝房 |
| 委員 | 桜井義一 |
| | 柳堀良男 |
| | 越川良男 |



花香彦